

令和 6 年 2 月作成

社会資本整備総合交付金事業の整備計画（下水道事業）の経過報告について

下水道施設課

1. 社会資本整備総合交付金とは

社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成 22 年度に創設されたものです。

また、平成 24 年度からは、地域住民の命と暮らしを守る総合的なインフラ施設等の老朽化対策や事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みに特化したハード・ソフト両面から重点的な支援を実施する「防災・安全交付金」が創設されました。

交付金の活用にあたっては、事業完了時には「事後評価」を実施し、事業の効果を確認することが要件とされています。

なお、事後評価とは、社会資本総合整備計画に記載された目標などの達成状況を客観的に検証し、今後の下水道事業に活かすものであります。

2. 計画の期間（資料 3 - 2）

平成 30 年度～令和 4 年度（5 年間）

3. 各事業の実施状況

（1）下水道総合地震対策計画（資料 3 - 3）

	当初現況値 H 3 0	中間目標値 R 2 末	最終目標値 R 4 末
目標	0 k m	1 . 3 k m	6 . 1 k m
成果		1 6 . 8 k m	1 8 . 9 k m
目標に対する達成率	0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

（2）下水道ストックマネジメント計画（資料 3 - 4）

	当初現況値 H 3 0	中間目標値 R 2 末	最終目標値 R 4 末
目標	0 k m	4 . 0 k m	8 . 0 k m
成果		7 . 2 k m	1 1 . 9 k m
目標に対する達成率	0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

(3) 雨天時浸入水対策計画

	当初現況値 H 3 0	中間目標値 R 2 末	最終目標値 R 4 末
目標	0 件	0 件	1 件
成果		0 件	1 件
目標に対する達成率	0 %	0 %	1 0 0 %

3. 次期目標年度に向けて

令和4年度までの事業は、各事業とも目標を達成した状況にあり、現在、これらの成果を基に管路施設の耐震対策や修繕を実施しているところです。

引き続き令和5年度も、施設の状況を踏まえ目標値の一部を見直し、事業を実施している状況であり、最終目標年度は令和8年度となっています。

計画の概要

	当初現況値 R 5 当初	中間目標値 R 6 末	最終目標値 R 8 末
下水道総合地震対策計画 耐震化済み延長	1 9 . 2 k m	1 9 . 8 k m	2 0 . 4 k m
ストックマネジメント計画 管路施設調査延長	1 1 . 0 k m	1 8 . 0 k m	2 7 . 0 k m